



6月23日(月)～29日(日)は『男女共同参画週間』です

～広げよう！家事場のパパチカラ～

国は、平成11年6月に施行された『男女共同参画社会基本法』の理解と関心を深めるため、毎年6月23日から29日までを『男女共同参画週間』と定めています。

今年度のキャッチフレーズは、『家事場のパパチカラ』です。これは、男性が、企業人としても家庭人としても豊かな生活をおくるために、長時間労働を減らして女性と共に家事・育児・介護・地域活動に関わりたくなるようなキャッチフレーズとして公募で選ばれました。今後は、この週間中の取り組みなどを機に、ワークライフバランスの普及が期待されています。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる『男女共同参画社会』を実現するためには、国や市だけでなく、皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。

市は、平成21年度から毎年この期間に合わせ、市職員の家事参画時間調査を行っています。これは、1日のうち家事を行った時間を家事の種類別に調査したものです。平成25年度調査における1日の平均家事時間は、男性が64.9分、女性が177.4分となっており、女性は男性の約2.7倍家事を行っているという結果になりました。中でも食事に関する家事時間(料理作り、後片づけなど)は男女差が最も大きく、男性が13.3分、女性が72.3分となっています。皆さんの家庭ではいかがでしょうか？

職場や家庭でも、男女どちらかに負担が偏るのではなく、協力合っていけたらいいですね。この機会に考えてみましょう。

第35回伊万里市美術展

創作意欲あふれる作品が勢ぞろい

市民参加型の美術鑑賞の機会を広めようと、第35回伊万里市美術展が市民センターで開催されました。これは、市美術展実行委員会と市教育委員会が毎年行っているもので、

前期(4月30日～5月4日)は『写真』80点、『工藝』28点、中期(5月7日～11日)は『絵画』53点、後期(5月14日～

18日)は『書』57点、合計218点の力作が展示され、期間中1126人もの来場者が作品を鑑賞しました。

各期間の最終日には作品解説が行われ、『書』最終日の5月18日には、市書道連盟主催による実技席書会があり、会員や小・中学生による書道のパフォーマンスが行われまし

た。子どもたちは、多くの参観者が見守る中一筆一筆丁寧に書いていました。



「たくさんの人がいたので緊張しながら書きました」と話す高峯菜優さん(中央)

郷土の文化財

文化財展示施設③

伊万里・鍋島ギャラリー

～焼き物専門のステーションミュージアム～

伊万里・鍋島ギャラリーは、松浦鉄道伊万里駅の2階にあります。市が所蔵する鍋島焼85件163点、古伊万里75件129点を、順次、入れ替えながら展示しています。

※このほか、臨時に休館することがあります。詳しくは、伊万里・鍋島ギャラリー(☎0222267)へ問い合わせてください。



◆問合せ先 生涯学習課 (☎02333186)

- 観覧料 300円
- 小・中学生と65歳以上は無料です。
- 開館時間 午前10時～午後5時
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

